

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第3回 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	平成27年8月28日(金) 午後3時 ~ 午後5時
開 催 場 所	市役所4階 405会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：委員5名 欠席者：谷津副会長、内野委員
議 題 等	1 報告 (1) 第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について 2 説明 (1) 第2回推進委員会における確認事項について 3 議題 (1) 基本目標の施策について ア 基本目標1の施策について イ 基本目標2の施策について (2) その他
結 論 (決定した方針、 残された問題点、 保留事項等を記載 する。)	1 報告 (1) 第2回推進委員会の会議要旨について承認 会議録の確認時は発言者の名前を入れる。 2 説明 (1) 特になし 3 議題 (1) ア 特になし イ 子育て情報サイトと予防接種情報システムの一元化の可否、基本目標2における市の強み及び弱みを、事務局にて確認する。 (2) 第4回以降の会議開催日程について承認
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 (1) 第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について (事務局) 第2回会議要旨を用いて第2回会議の概要について説明 (委員) 会議録の確認時は発言者の名前を入れてもらいたい。 (事務局) 承知した。 <結論> ・第2回推進委員会の会議要旨について承認する。 ・会議録の確認時は発言者の名前を入れる。 2 確認 (1) 第2回推進委員会における確認事項について (事務局) 村山大島紬の生産・販売状況について説明 (事務局) 市内の空き店舗について説明 (委員) 空き店舗の集中地域はあるか。 (事務局) 集中している地域はないようである。 3 議題 (1) 基本目標の施策について ア 基本目標1の施策について (事務局) 基本目標1の具体的な施策8「観光情報の発信」について説明 —質疑・意見等—

	<p>(委員) PR映像は情報館「えのき」で放映しても、情報館「えのき」に人を呼ぶことから始めないといけない。ウェブ上で公開してはどうか。</p> <p>(事務局) イオンモールのフードコート等で放映することも考えられる。</p> <p>(委員) 市外の方を呼ぶのであれば、全国に向けて発信しないといけない。ウェブで公開する方が観光誘致につながるだろう。</p> <p>(会長) 観光農園等の他の場所に観光で来る人にかたくりの湯への立ち寄りを促してはどうか。</p> <p>(事務局) ウォーキングイベントの際にかたくりの湯をゴールとしたり、Foodグランプリをコースに組み入れて割引券を配布したりしている。</p> <p>(委員) 単独でPRするのではなく、他の観光資源と組み合わせるとよい。</p> <p>(会長) PR映像はかたくりの湯だけを取り上げるのか。</p> <p>(事務局) 他の観光資源も組み合わせる。</p> <p>(委員) 温泉が観光の目玉なのか疑問だ。</p> <p>(事務局) 温泉が核だと考えている。</p> <p>(委員) 利用者の減少が近隣自治体に類似施設ができたということであれば、まずは差別化を図るべきではないか。他の施設と何が違うのかを考えてから、パッケージを考えた方がよい。</p> <p>(事務局) 指定管理者制度をとっているが、委託先が赤字だと聞いており、経営の見直し計画を練っているところである。</p> <p>(委員) 元いた利用者が、どこに行ってしまったのか、どの温泉施設を利用しているのかも把握できるとよい。</p> <p>(事務局) 施設の老朽化も理由のひとつにあるかもしれない。</p> <p>(委員) 利用者が減少した理由によって発信の仕方も変わるだろう。</p> <p>(委員) 発信力不足か、施設の魅力がないのかを把握しないといけない。事業の根本的な運営の見直しが必要だろう。お金を落とすのはイオンだけということではなく、地域の一部と位置づけ、いろいろな場所に回遊してもらわないと、まち全体が良くなっていかないのではないか。</p> <p>(事務局) 道の駅をつくることで観光の目玉にするという考え方もあるが、市街化調整区域のため建設計画が立てにくいという現状がある。</p> <p>(委員) 新しいことをやらないと、リピーターは定着しない。</p> <p>(事務局) 指定管理者はいろいろとイベントをしているようだが、うまくいっていないようだ。</p> <p>(会長) 新しい施設を建てるのは予算も必要になる。情報発信の観点では、かたくりの湯と既存の資源を活用した形でPRをしていただきたい。</p> <p>(委員) ウィメンズチャレンジプロジェクトの参加者を巻き込み、市民目線でPRグッズを作ってはどうか。市とは異なる目線で魅了を伝えられるので、おもしろいものができるのではないか。</p> <p>(事務局) 市と市民の協働事業を、市民から提案していただく制度はある。</p> <p>(委員) 敷居が高い。市の事業に市民を巻き込むという方がよい。</p> <p>(事務局) 全ての事業において可能性はある。</p> <p>(会長) それでは市民は何をしてよいかわからない。具体的な事業</p>
--	---

	<p>を提示し、それに興味や知識のある市民と一緒にできると双方にメリットがある。</p> <p>(委員) ある市の市民講座では、終了後に、参加者が市の広報物の作成に携われるという例がある。市にとってはデザイン料がかからないし、参加者にとってはやりがいにつながっているようだ。</p> <p>(委員) 男女共同参画センターで企画してみたい。市民と市が一緒にできることはいろいろとあると思う。</p> <p>(事務局) 市役所職員の考え方も変えるべきなのだろう。</p> <p>(委員) 広報物を作成する際、予算が十分でないこともあり、できる限りの対応になってしまっているのではないかと。市民と協働で作成すれば、大変かもしれないが、熱心な方もいるのでアウトプットも良いものになるのではないかと。市役所では難しい部分もあるかもしれないが、それを変えていくためにも市民協働には賛成である。</p> <p>(事務局) 基本目標1の具体的な施策9「移動手段の確保」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) 市内循環バスは1時間に1本しかなく不便だ。</p> <p>(委員) バス路線もコースが市内を大きく回っている。利便性のためには根本的に変えなければいけないのではないかと。</p> <p>(事務局) コミュニティバスは多くの場合、駅には公共交通があるので市内循環だけでよいが、武蔵村山市は駅に行く路線も確保しなければいけない。コミュニティバスの概念を超えており、運行で年間1.1億円の赤字となっている。</p> <p>(委員) 武蔵村山市は車社会なので、バスを利用するのは高齢者だろう。その利用者層を踏まえると、路線は変わるかもしれない。</p> <p>(事務局) 乗合タクシーは路線バス廃止とともに、交通不便地帯に導入したが、それほど利用がない。</p> <p>(委員) 基本目標1に位置づけると、駅からの市外からのアクセスを考える必要が出てくる。</p> <p>(委員) 駅がないと人が集まる拠点なくなるが、どこを中心市街地と捉えているのか。</p> <p>(事務局) 中心市街地はない。</p> <p>(委員) それであれば、3つほどのスポットをつくり、路線を考えるべきだろう。将来、モノレールの駅ができることも想定して、まちづくりを考える必要がある。1.1億円の赤字路線が、本当に市にとって必要なことかは疑問だ。この状態をいつまでも続けられないのではないかと。レンタルサイクルなどの方がよいのではないかと。</p> <p>(会長) 中心市街地を作らなければならないということか。</p> <p>(委員) 中心はどこかという議論から始めないといけない。</p> <p>(委員) モノレールが延伸した時のことも考えるべきだろう。モノレールが開通すれば、まちが大きく変わる。電車が通ると宅地開発がされ、人が移り住み、人口が増える。</p> <p>(委員) モノレールが通るかどうかで議論は大きく変わる。</p> <p>(事務局) 今年度末に東京都が見解を示すが、今回の総合戦略の計画期間中の開通はないであろう。モノレールがないことを前提に考えないといけない。</p> <p>(委員) 運行するバスを小型の車にすることで費用を抑えられないのか。</p>
--	--

	<p>(委員) 多くの自治体でコミュニティバスが運行されているので、連携してはどうか。市内に限って経路を考えるのではなく、共同運行を視野に入れるべきではないか。</p> <p>(事務局) 立川市・東大和市と共同運行することは考えられるが、かなり難しいと聞いている。市内循環バスの黒字化は目指していない。</p> <p>(委員) 市民が納得できればよいが、需要とサービスが合っているかどうか確認すべきである。</p> <p>(事務局) 基本目標1の具体的な施策10「郷土のみどりの保全」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) グリーンヘルパーとは何か。</p> <p>(事務局) 市独自の制度で、2年前から講座を実施している。公園・緑地等ボランティアや公園の一区画を市民開放して草花を育ててもらっているが、その指導役を想定している。</p> <p>(委員) 制度自体は魅力的だが、本格的に取り組もうとするのであれば、もっと多くの人にグリーンヘルパーになってもらうべきではないか。</p> <p>(委員) 協働事業提案制度で、市内のみどりについて提案していたNPOがあったので、連携してはどうか。</p> <p>(会長) グリーンヘルパー制度は興味深いが、人数が増えることがみどりの保全につながるが見えにくい。</p> <p>(事務局) これまではグリーンヘルパー制度を作ることが目標となっていたと思うが、今後は活用も考えていきたい。</p> <p>(委員) 公園の市民一人当たりの面積が26市で1位ということは、もっとアピールして、「みどりのあるまち」というイメージ作りが大切である。</p> <p>(委員) 公園面積のおかげもあり、東洋経済の「出産・子育てしやすい街ランキング」首都圏1位に選ばれている。</p> <p>(委員) 里山民家はみどりの保全にも、観光資源にもなっている。からめてアピールするとよいと思う。</p> <p>(事務局) 基本目標1の具体的な施策11「市街地及び狭山丘陵景観重点地区の景観整備」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(会長) 景観影響行為の届出件数を増やすという目標が示されているが、どういうことなのか。例えば、家を改装するに当たり、条例で色彩の基準が設定されているので、その範囲のものにせざるを得ないと思うが、届出件数が増えるとはどういう状態なのか。</p> <p>(事務局) 罰則規定がないので、必ずしも従わなくても特に問題がない条例になっている。説明をして納得してもらう件数を増やすことを想定している。</p> <p>(委員) 条例に従うインセンティブもないのであれば、住民任せになってしまう。</p> <p>(委員) 現状32件の届出があるようだが、自主的に届け出た家が32あるということか。</p> <p>(事務局) そうである。</p> <p>(会長) まちづくり計画の箇所数については、現在1箇所なので、今後増やそうということか。</p> <p>(事務局) そうである。検討中のエリアがある。</p> <p>(委員) 狭山丘陵を中心とした自然エリア、イオンモール周辺の商</p>
--	---

業地、中原のような住宅地があり、それらをつなぐ移動手段も含めて、トータルで考えないといけない。モノレールが延伸したときのシミュレーションも必要だと思う。

イ 基本目標2の施策について

(事務局) 基本目標2の具体的な施策1「子どもと外出しやすいまちづくりプロジェクト」、(1)「子育て情報の提供」について説明

—質疑・意見等—

(委員) 子育て情報サイト運用事業は素晴らしい。ただ、予防接種情報システムと一緒にしてもらえたら、より使いやすい。

(委員) 防災の情報等も盛り込んでもらえると、全て一つのシステムで済んで便利である。情報が一元化されて、リアルな情報がとれるとよい。

(事務局) 切れ目のない支援のために、子育て世帯包括支援センターを作る構想はある。これは、子育て支援課と健康推進課が連携して取り組む。子育て情報サイトと予防接種情報システムは、アプリケーションが別なので、統合できるか確認する。

(委員) 子育て情報サイトの「行政サービス」という表記は、わかりにくいのではないかと思う。「子育て支援のサービス」とした方がわかりやすい。

(委員) 子育て情報サイトの告知はどのようにしているのか。

(事務局) 市報と市ホームページで広報する。保育園や児童館にもチラシを置くと思う。

(委員) 事業の方向性は良いと思う。利用者が増えることで、内容もブラッシュアップしていくと思うので、利用者を増やしてもらいたい。そうすると、KPIはアクセス数ではなく、子育て世代の利用者数や割合を設定してはどうか。母子手帳を渡す際に、子育て情報サイトのチラシを渡すだけでも告知になる。

(事務局) それはすると思う。

(委員) サービスの中身が良くても、周知がうまくいかないと利用者が少ないままで、事業が先細りになってしまうおそれがある。多くのチラシをもらっても人は読まない。市民に伝えるための工夫をしないといけない。

(委員) 母子手帳のページ内で、子育て情報サイトを案内してはどうか。

(委員) QRコードを貼付してアクセスできるようにしてもよい。

(委員) 全体的に見ると、武蔵村山市は子育てしやすいまちというイメージがあるのか。

(事務局) そのようである。

(委員) 出生率を見ても子育て支援に細やかに取り組んでいるのだと思うので、子育てサイトの広め方の工夫は一步踏み込んだ話として捉えてほしい。

(会長) 時間であるので、ここまでとしたい。

(事務局) 必要な資料がある場合、事前にメール等で連絡いただければ用意する。

(委員) 出生率は多摩地域の中でも高い方だと思う。現状、出生率が高い根本的な理由、分析について、市の考えを聞いた上で検討をした方が進めやすい。

(事務局) 市の取組の例を挙げると、保育園の定員は多く、待機児童も少ない。特に低年齢児の定員が多く、43日から受け入

	<p>れている園も多い。</p> <p>(委員) それをアピールするとよい。子育て環境の良さを理由に転入してくる人もいるのではないか。</p> <p>(会長) 現時点での市の強みと弱みが見えてくると、強みを伸ばし、弱みを補填するという考え方ができて、施策の検討がしやすい。</p> <p>(事務局) 次回、基本目標2について、確認しお伝えする。</p> <p><結論></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て情報サイトと予防接種情報システムの一元化の可否、基本目標2における市の強み及び弱みを、事務局にて確認する。 <p>(2) その他</p> <p>(事務局) 第4回以降の会議開催予定について、第4回は9月17日(木)午後3時から、第5回は10月6日(火)午後7時から、第6回は10月20日(火)午後6時からとする。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p><結論></p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回以降の会議開催日程について承認する。
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u> 0 </u>人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：) </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財務部 企画政策課(内線：374)</p>
--------------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)